WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区　上田ロータリークラブ
（創立1959年11月12日）

2023-2024年度 国際ロータリーテーマ
世界に希望を生み出そう

R.I.会長　ゴードンR・マッキナリー
国際ロータリー第2600地区　ガバナー　折井 正明

2023-24年度 上田ロータリークラブ
●会長　林 秀樹　●副会長　三井 英和・酒井 喜雄
●幹事　飯島 幸宏　●会報委員長　斉藤 達也

Rotary　世界に希望を生み出そう

第２９３９回例会（令和６年３月11日）

ホームページQR

[会長挨拶]　　林　秀樹　会長

今日は東日本大震災が起こって13年目になります。

朝からいろいろな報道機関でこのニュースを目にして、13年前のことを思い出された方も多いと思います。この年月の間に、どれだけのことがあったでしょうか。良かったこと、悪かったこと、大変だったこと、びっくりしたこといろいろあったと思います。震災を経験した方は、時間が止まってしまったままの方も、いらっしゃるとのことです。時間が解決するとはいいますが、人によってその時間の長さには個人差があり、なかなか簡単に言葉にできることではないとは思います。ただ、どんな人にも確実に時間は解決してくれます。今年の１月に起こった能登地震に被災された方々にも言えることですが、１日でも早い復興を願います。私たちもロータリアンとして、できることに協力していけたらと思います。

話は変わりますが、一昨日の土曜日、2600地区で臨時の会長会が開催され、そこで青少年育成基金規定について一部変更が提案され承認されました。詳細についてはホームページをご覧ください。

[ゲストスピーチ]

●チャイルドラインうえだ運営委員会
運営委員長　小林　彰 様

今、家に帰ってもお父さん、お母さんがいない家庭というのが、ずいぶん増えております。学校に行って辛かった、友達との関係がうまくいかなかった、テストをやったら思っている点数よりいかなかった、そういう時に誰かが話を聞いてくれれば良いのですが、今、ほとんどの家庭が核家族です。おじいちゃん、おばあちゃんは離れた所に住んでいて、話を聞いてくれる状況にはなっていません。

そういった子どもたちの声を聴いて差し上げる、悩みや相談に乗って差し上げるというのがチャイルドラインの取り組みです。

チャイルドラインでは、年に２回、県内だと25万枚、それぞれの小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に、カードを配布させていただいております。

ここにはどういうふうに書いてあるかというと、

●ヒミツはまもる
●どんなことも、いっしょに考える
●名まえは言わなくてもいい
●切りたいときは電話やチャットを切っていい

そういう約束が書かれています。電話の受け手は、すべてボランティアです。講座を設けて、子どもさんたちの話を聴くにはどのようにしたら良いか学んで、電話を受けております。

私たちの活動では、こうしなさい、ああしなさいということは一切言っておりません。子どもたちの力を信じて、子どもたちが自ら考えて「こうしたい」と言った時に寄り添って、相談に乗っています。

このボランティアの活動内容は、家族にも話さない事になっています。すべて秘密です。しかし、とても辛い話を聴かなければならない時もありますので、支えているボランティアという存在もあります。そこでしっかり話をして、持ち帰らなくても済むようにして家に帰っていただいています。

具体的な状況については、茅野の方から話させていただきます。

●事務局次長　茅野　浩恵 様

チャイルドラインは18歳以下のこどもたちの話を聴くために、39都道府県68団体が交代で毎日16時から21時まで活動中です。チャイルドラインうえだは、2006年から電話受付を開始し、今年度で18年目になります。

長野県には５つのチャイルドラインがあり、立ち上げから県の次世代サポート課との協働事業として活動しており、教育委員会・各自治体の協力もいただいております。

子どもたちがチャイルドラインを利用する方法は３つあります。ひとつは、電話です。年間18万件の着信があります。二つ目はチャットです。2022年度は13万件の訪問件数がありました。三つ目は、「つぶやく」欄に書き込む方法です。これはチャイルドラインのホームページ上の欄に24時間いつでも書き込むことができ、2022年度の書き込み件数は２万件ありました。

子どもたちからの話の内容は、多岐にわたります。私たちはどんな話しでもまず受け止めることから始めます。そして一緒に考え、気持ちを整理し、解決するための一歩を踏み出せるように寄り添います。

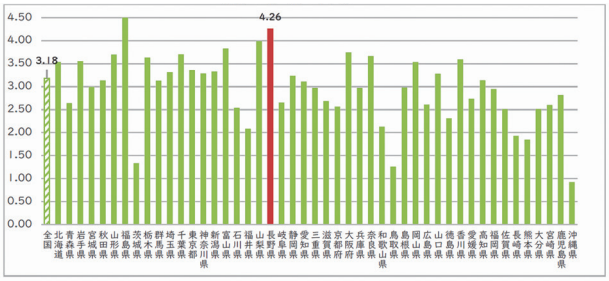
チャイルドラインには大きく二つの役目があります。１つ目は今述べた通り、子どもたちの話を聴き『心の居場所』として寄り添うことです。

もう１つは、子どもたちの現状を身近な大人の方たちに知ってもらうための活動をすることです。

都道府県ごとに比較すると、本県は全国の中でも高い水準にあります。

図2−8【全国・都道府県】都道府県別未成年者（20歳未満）の自殺死亡率（人口10万対）の比較

（平成29年〜令和3年平均）

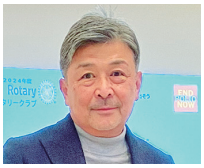


（自殺者数：厚生労働省「人口動態統計」、人口：総務省「人口推計」）

一つの例として、厚生労働省の「人口動態統計」都道府県別20歳未満の自殺死亡比率グラフを見ていただくと、長野県が高い水準にあることが分かります。また、全国の小中高生の自殺者数は2022年過去最高の514人でした。１月末発表の2023年のデータでは504人で、その内13人の小学生が自らの命を絶っています。こういった現実に対して、私たち大人に何ができるのかと子どもたちに問うと、「話を聴いてほしい」「話を最後まで聴いて否定しない」との答えでした。子どもたちの思いに応えるためにチャイルドラインは微力ながら地道な活動を続けております。

未来を担う子どもたちを社会全体で支える活動には様々な活動があります。直接関わる参加の仕方もありますし、活動を支える支援や広報という形もあります。今回貴ロータリークラブ様例会出席のご縁をいただき感謝申し上げます。子どもたちの現状に関心を寄せていただき、更なるご支援のほどよろしくお願いいたします。

［幹事報告］　　飯島　幸宏　幹事



１．地区事務所
　2025-26年度　ガバナー補佐選出についてのお願い
　上沢年度「年次報告書」について
　電子ブックＵＲＬのお知らせ
２．南佐久ＲＣ　ＩＭ・会員セミナーのお礼
３．社会福祉法人
　長野県聴覚障害者協会
　第73回 長野聴覚障碍者スポーツ大会後援名義使用許可のお願いについて
４．日本ユネスコ協会連盟　書損じハガキのお礼
５．例会変更　軽井沢ＲＣ　３月18日㈪　定受あり
　４月８日㈪　定受なし
　15日㈪　定受なし
　22日㈪　定受なし
　29日㈪　定受なし
　５月６日㈪　定受なし

［ニコニコBOX］　　成澤　厚　委員長

飯島幸宏さん　石井懋人さん　出田行徳さん　伊藤典夫さん　柄澤章司さん　北村修一さん　窪田秀徳さん　桑澤俊恵さん　桑原茂実さん　小林秀茂さん　小山宏幸さん　斉藤達也さん　酒井喜雄さん　酒巻弘さん　春原宏紀さん　関啓治さん　関勇治さん　滝沢秀一さん　田邉利江子さん　成澤厚さん　林秀樹さん　布施修一郎さん保科茂久さん　三井英和さん　柳澤雄次郎さん　佐藤倫さん　瀧澤亮介さん

本日喜投額　27名　¥　27,000
累　計　¥1,291,000

［例会の記録］

司会：佐藤　倫　会場・出席委員
斉唱：ロータリーソング「それでこそロータリー」
●会長挨拶　●幹事報告
●ゲストスピーチ
　チャイルドラインうえだ運営委員会
　運営委員長　小林　　彰 様
　事務局次長　茅野　浩恵 様

［出席報告］　　佐藤　倫　会場・出席委員

	本日	前々回（3/11）
会員数	54	53
出席ベース	52	51
出席者数	41 コロナ欠席2	39
出席免除(b) （ ）内は出席者数	5(3)	5(3)
出席免除(a)	0	0
メークアップ （ ）内 は Make up 後		1(40) コロナ欠席2
出席率	82.69	82.35

［本日のメニュー］

幕の内弁当
●白身魚のフライ
●焼鮭
●プチハンバーグ
●焼きそば
●青かっぱ
●ご飯
●味噌汁

［次回例会予定］

４月１日㈪　慶祝
　ゲストスピーチ
　「私と上田市とウォリアーズ」
　信州ブレイブウォリアーズ
　㈱NAGANO SPIRIT　片貝　雅彦 様
　竹内　直人 様

（３月18日発行）
【会報担当】桑澤　俊恵　会報委員